

森林資源地域ブランド化計画の提案

ひば倶楽部の提案する
ひのきブランド

概要

- ひのきの優れた素材で商品開発を。
- 森林資源をまるごと活用し、収益性UP。
- これまで水に微量しか解けなかったひのき精油を水に溶かす特殊技術を開発。
- ひのきをアロマセラピー素材として見直し、収益性の高い商品を開発。



ブランド力を高め、 収益性を向上させる

- 山の収益性を向上させることで、自然が守られる。
- 地球環境に貢献する CO2 削減効果
- 花粉症対策への社会貢献
- 「〇〇ひのき」としてすでにブランド化されていても、商品開発を促進し、ブランド力を強化すべき。



写真提供・赤堀楠雄氏

現在状況

- 安い輸入材に押され、国内材が売れ行き不振に。
- 売れない資源には手入れが行き届かなくなる。
- 後継者が不足し、山が荒れる。
- 山が荒れると栄養分が川に流れず、海の資源も減少。
- 山が荒れると CO2 増大、花粉飛散増大



写真提供・ゆめみらい

新開発が道を拓く

- ひば倶楽部がひのきの精油を水に溶かす新技術を発明（特許申請中）。
- ひのきの葉を香り袋として利用（実用新案申請済）。
- 「ひのき健香水」に予想外の反響。
- ひのきの葉まで活用することで、雇用創出



ご提案

- ひのき健香水を素材とした商品開発
- ひのきの葉を香り袋として活用する用途開発
- ひば倶楽部の新技術による素材や知的資源を森林関連事業者に提供します。



アロマセラピーの家 (商標登録済)

- 一例として「アロマセラピーの家」を取り入れてください。
- ひのきの家も素敵ですが、ひのきのもつ効果をアロマセラピーの家で実現。
- アロマセラピーの家は「健康住宅」から「健康増進住宅」へ飛躍します。
- ひのきブランドを総合的に活用した事例として、オープンソースの「アロマセラピーの家」をご活用ください。



アロマセラピーの家とは

- ひば倶楽部では設計事務所や建築会社の方々が自由にアレンジし、自社ブランドとして利用していただくシェアウェアとして「アロマセラピーの家」を提案しています。
- 基本的な考え方は家の中に空気の流れを計画的につくり、カビやヒートショックの防止、省エネに効果をもたらすものです。計画された空気の流れに、ひばの香りなどフィトンチッド（森の香り）を取り入れることで、防虫・防カビ・抗菌・除菌・癒し・森林浴・リラックスの効果を家全体に導くのが「アロマセラピーの家」です。
- 基礎や小屋裏を含めて、家全体を一定温度にすることで、温度差により生じる結露、結露により発生するカビ、カビの繁殖の結果発生するダニ、ダニの繁殖・死骸・糞によるアトピー・アレルギーという悪循環を根本から断つことができます。基礎を含めて空気循環させるためには、土台に防虫・防腐処理することを避けます。
- シェアウェアとしての「アロマセラピーの家」はそれぞれの経験で構築された工法に「空気循環＋フィトンチッド（森の香り）の採用」を組み込み応用していただくだけで、オリジナルな工法を構築することが可能です。採用に当たっては当社一級建築士も相談に応じる体制ですので、お気軽にご相談ください。

地域ブランドの販売システム

- 森林資源地域ブランドを他の海産物、農作物等の地域生産物とともに、地域全体がまとまり、地域ブランド化をめざします。
- 全国の地域ブランドとともに、ネット販売、イベント販売のツールをご提案します。
- 過疎化、高齢化が進んでいる地域では、地域のブランド力を高め、地域への移住計画を推進します。